

第6次川西町総合計画（案）へのご意見等について（パブリックコメント）

- 1 募集期間：令和7年10月10日（金）～令和7年10月27日（月）
- 2 募集方法：町ホームページまたは役場、各地区交流センターで閲覧の上、次のいずれかで提出していただきました。
 - (1) 提出方法 ①書面、②郵送、③ファックス、④電子メール、⑤電子申請
- 3 受付件数：1人（4件）
- 4 その他 いただいたご意見の文面について、個人の特定が推定される箇所を一部修正しております。

| 受付件数 | NO | ご意見 | ご意見に対する対応 |
|------|----|--|---|
| 1 | 1 | <p>55ページから58ページの「未来を担う若者育成プロジェクト」について、若者への情報発信やワークショップだけではなく、実践活動が大きな効果をもたらすのではないかと思います。自分達で何かをやり遂げたときの達成感や、そこに参加した人たちとの交流の中で、次の活動への意欲が湧いて、活動の継続へと繋がっていきます（実体験）。ワークショップや交流会等で若者が集まって色々と意見交換し、繋がりを作っていくことも大切ですが、そこから重点施策の1-3、1-4に繋がっていけるのかどうか・・・。実際に地域活動を企画・運営している自分としては、この1-3、1-4がすごく重要だと思っています。何か面白い仕掛けがないと参加者も集まりませんが、ネックになるのは川西町の財政難ですね・・・。面白い案があっても、お金が無いのでできない、となってしまうのは勿体ないなーと感じます。財政的に、このプロジェクトにはお金をかけることはできないかもしれません、来年度以降は県外の有名な先生をお呼びして話を聞くのではなく、身近なところで地域活動をしている人に話を聞いて（高畠のおれまかさん等）、講師の謝金や交通費につかっていたお金をイベント等の活動費にまわしたほうがいいのではないですか。</p> | <p>貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>また、地域で実際に活動を企画・運営されている立場からのご提案、大変参考になります。</p> <p>ご指摘のとおり、「未来を担う若者育成プロジェクト」においては、情報発信やワークショップにとどまらず、若者が自ら考え、行動し、達成感を得る実践的な活動が重要であると認識しております。</p> <p>実際に体験を通して得られる学びや仲間との交流が、次の挑戦へつながる好循環を生むことは非常に意義深いと考えます。</p> <p>ご提案いただいた内容を参考にし。限られた予算の中でも実践型の取組が進められるよう、事業内容を検討してまいります。</p> <p>「1-3 挑戦する若者づくり」や「1-4 こどもみんなが主役になれる環境づくり」といった方針に基づき、地域の皆さんと連携しながら、若者が主体的に動ける仕組みづくりを進めてまいります。</p> |
| 2 | 2 | <p>57ページの成果指標で、町内で開催された若者主導のイベント数、少なすぎると思いました。もっとたくさんあったはずです。「若者」と「イベント」の定義は何でしょうか。行政が関わったイベントだけを言っているのでしょうか。町内にある地域資源（まちづくり団体など）について、もっともっと行政の皆さんに知って欲しいです。補助金や寄付金でなんとかやりくりしながら、地域づくりに取り組んでいる小さな団体にも目を向けていただければ嬉しいです。</p> | <p>ご指摘の「若者主導のイベント数」については、町報で掲載した記事をもとに集計しておりました。</p> <p>行政が直接関与していない自主的な活動や、地域団体が独自におこなっているイベントについて、把握が難しい現状です。</p> <p>ご提案いただいた、地域づくりに取り組んでいる小さな団体の活動状況も把握できるよう町内イベントにアンテナを高くしていくとともに、併せてその活動を町SNSで発信していくことにつなげていきます。よって、「若者主導のイベント数」は、町報のみではなく町SNSで発信したイベントも集計することに変更します。</p> <p>「若者」および「イベント」の定義につきましては、「若者」は、39歳以下の方</p> <p>「若者主導のイベント」は、若者が中心となって企画・運営し、町内で開催したまちづくりの促進につながる活動を想定しております。</p> |

第6次川西町総合計画（案）へのご意見等について（パブリックコメント）

| 受付件数 | NO | ご意見 | ご意見に対する対応 |
|------|----|--|---|
| | 3 | <p>57ページの重点施策1－4について、子どもが郷土愛を育み、主役になれるような環境をつくるということは、教育もちろん大切だと思いますが、一番は学校や家庭から外に出て「地域で活動すること」だと思います。学校が関わらない地域活動（地区のお祭り、町主催のイベントの参加など）の機会が圧倒的に減っているので、地域の中での子どもの居場所づくりが町内に広まってほしいです。教育現場では先生方がとにかく忙しくて大変だと聞いているので、学校任せではない「子どもの活躍の場」を作っていく必要があります。ぜひそのような地域資源を増やしていきましょう。</p> | <p>ご指摘のとおり、「子どもが主役になれる環境づくり」を進める上では、学校教育で進める取組みのほか、地域で行う体験や人とのつながりができる取組みが重要であると認識しております。町内のさまざまな地域資源を活かし、子どもたちが「地域の一員として自信と誇りを持てる環境」づくりを関係組織等と連携し進めてまいります。</p> |
| 1 | 4 | <p>「未来を担う若者育成プロジェクト」は、今まさに私が力を入れて動き出している内容とぴったりだったので、非常に嬉しく思います。町としては町独自の計画で動かなければいけない部分もあるかもしれませんのが、既存の団体と連携したり、先進事例ばかりではなく取り入れやすい身近な事例を参考にしながら進めていくほうが無理なく現実的だと思います。町内ボランティア団体で実施している参加者の関与の程度に応じて、複数の区分を設けている取組みは、このプロジェクトにぴったり当てはまっています。この総合計画を進めていく中で町内ボランティア団体メンバーの成長もお伝えできればうれしいです。楽しいことをどんどんやっていく、そして運営側が一番楽しむ事を忘れずに、一緒に取り組んでいきましょう。</p> | <p>ご指摘のとおり、すでに地域で動いている団体や個人の皆さんと連携しながら、現実的で持続可能な形で取組を進めることが重要と考えております。町内ボランティア団体で実施している参加者の関与の程度に応じて、複数の区分を設けている仕組みは、若者の段階的な関わりを構成している優れた取組であり、「未来を担う若者育成プロジェクト」の理念とも大いに合致しております。今後、町としてもこのような地域発の取組を積極的に紹介・連携しながら、若者が地域の中で学び、挑戦し、成長できる環境づくりに力を入れてまいります。そして、活動の楽しさや達成感を共有し、「運営する側も楽しむ」気持ちを大切にしたまちづくりを進めていきたいと考えております。</p> |